

## 日

## 本との「絆」テーマに

## 第52回海外日系人大会開催

昨年を超える  
172人が参加



初日の歓迎交流会には秋篠宮同妃両殿下が御臨席になり、参加日系人と親しく懇談された

第52回海外日系人大会が、去る10月26日より28日までの3日間、東京都千代田区永田町の憲政記念館及び市ヶ谷のJICA研究所で行われた。

3月に起った東日本大震災の影響下、参加者の出足が心配されたが、総合テーマ「強めよう日本との絆—国難に立ち向かう日本と海外日系社会」の下、最終的には22カ国1地域より172人と昨年を上回る参加があった。海外からの旅行者数が減っている中、海外に住む日系人は、母国としての日本の災害に深い心配と関心を寄せていることを裏付けた。

今大会は初日の26日に、「報告会—東日本大震災と日系社会の支援活動」が行われ、震災直後から、世界各国の日系人がどのような支援活動を通じて募金を行い、それがどのように在住国の国民に広まっていたか等が、スライドを通じて紹介され、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、ハワイの代表の報告の後、被災地での支援活動に直接携わった日系ブラジル人の報告も行われた。

歓迎交流会に秋篠宮同妃両殿下が御臨席になり、参加日系人と親しく懇談された。2日目の代表者会議は、①日本特に地方社会と日系社会、②在日日系

人、③日系ユース、の3テーマによる分科会形式で行われ、8項目の決議と2項目の要望からなる大会宣言が採択された。同日午後には、玄葉光一郎外務大臣主催の歓迎レセプションが外務省飯倉公館で行われ、福島県出身の玄葉外相は、海外日系人より多大な義捐金が寄せられたことや、在日日系ブラジル人が郡山で炊き出しを行ったことに触れ、「日系人の皆さんの絆を感じた」と挨拶し会場を沸かせた。

3日目の全体会議では、第8回日系文芸祭の表彰式が行われ、2回目となる「在日日系人こども発表会」では、静岡県浜松市のペルー人学校ムンド・デ・アレグリアから、小学校の部はパラグアイ、中学校の部はペルー、高校の部はブラジルの生徒が、それぞれの代表として、自分の将来の夢について日本語のスピーチを行った。

代表者会議に出席しない参加者のために実施した2日目のオフィシャルツアーは、皇居参観の後、浅草をめぐり、建設中の東京スカイツリーなどを見学した。

3日目には、横路孝弘衆議院議長、西岡武夫参議院議長主催による昼食会が行われ3日間の大会の幕を閉じた。

# グラフ — 第52回海外日系人大会



「報告会—東日本大震災と海外日系人の支援活動」でブラジルの募金活動について報告する菊地森治サンパウロ日伯援護協会会長(10月26日 憲政記念館)



参加者歓迎交流会で挨拶する山田啓二海外日系人協会会長(京都府知事=全国知事会会長 10月26日 憲政記念館)



代表者会議では8項目からなる「大会宣言」を採択した(10月27日 JICA研究所)



外務大臣主催レセプションで玄葉外相(左)に被災地支援活動のDVDを手渡す在日ブラジル人ネットワーク橋本会長(10月27日 外務省飯倉公館)



在日日系人子供発表会でスピーチするムンド・デ・アレグリア学校のカイヤ・ラファエル君(10月28日 憲政記念館)



衆参両議院議長主催で乾杯の発声をする尾辻秀久参議院副議長(10月28日 憲政記念館)



# 「国際日系ネット」8団体が参加 情報発信中! 11団体が公開準備 より期待される利用価値

海外日系人協会では、2010年12月より、ホームページ上に「国際日系ネット」を立ち上げた。「国際日系ネット」は、国内外の日系人関連団体の最新情報をウェブ上に集約することで、各日系人団体の情報発信の促進や、ネットワークの構築を目的としている。

参加団体には、専用のウェブサイトを提供。団体の基本情報はもちろんのこと、ホームページとしての活用も可能で、写真や画像、PDFなどを使って、活動報告や広報、イベントの告知など通常のホームページと同じく情報発信が出来るようになる。

すでにホームページを持っている団体でも、ブログ(日記)機能を使って情報を更新すれば、団体ホームページのアクセス数アップにもつながる。ブログを書くと、当協会ホームページのトップページ上で新着情報としてタイトルが掲載され、当協会ホームページを経由して各団体のホームページにアクセスすることも可能となる。

また、「国際日系ネット」に参加する団体を一覧表にして表示する機能もあり、国、地域別で分かれているので、日系団体を検索する人の目にとまりやすい。インターネットに接続されたパソコンがあれば、日記を書く感覚で簡単に情報発信ができ、特別なソフトの購入や、特別な技術、維持費のすべてが不要。

申し込みは、<http://www.jadesas.or.jp/nikkei-net/index.html> からアクセスし、参加を希望する団体がプロフィールを送付すると、当協会がサンプルページを作成し、ID・パスワード、マニュアルと合わせて送付する。

公開後1年が経過した2011年12月15日現在、8団体のウェブサイトの公開と運用を実施しており、その他申し込みがあった11団体について現在公開準備中だ。

「国際日系ネット」を活用中のスイスの「ケアチームジャパン」は、団体の出版物「エンディングノート」や、ホームページ紹介等を行っており、出版物の販売促進、同団体の活動内容の広報につながっている。

「国際日系ネット」は参加団体が増えるほど利用価値が高まり、参加するすべての団体にとってのメリットとなる。

申し込み・お問い合わせは、上記アドレスか、海外日系人協会(045-211-1780)まで。

■現在ウェブサイトを公開中の団体(2011年12月15日現在)

## 【中南米】

### ブラジル

- ・アマゾン日伯援護協会
- ・サンパウロ人文科学研究所
- ・ブラガンサ日本語学校
- ・さくら学園

### メキシコ

- ・(社)日墨協会 日本語教室

## 【アジア】

### 日本

- ・日系ユースネットワーク事務局

## 【欧州】

### イギリス

- ・英国日本人会

### スイス

- ・ケアチームジャパン



## 在日日系人による被災地支援に海外日系人が寄付 ブラジル、チリから180万円

当協会あてに、海外の日系団体・個人から送金された「日系人東日本大震災募金」は10月19日までに累計2,170万円を超え、これまで2度にわたり岩手、宮城、福島の被災3県あてに分配し贈呈した。

一方、日本国内ではブラジル人を中心とする在日日系人のグループが被災地に直接赴き、様々な支援活動を続けている。10月に実施した第52回海外日系人大会の代表者会議「在日日系人」分科会では、ボランティア活動を続けるグループのメンバーの多くが失業中であるという報告があった。

当協会は、彼らの活動支援をパンアメリカン日系人協会会長あてに要請していたところ、パンアメリカン・ブラジル日系人協会、チリのパルハラ

イズ日系人協会より合計1,790,057円の寄付が寄せられた。

当協会では、これらの活用にあたり助成要綱を作成し、3月11日発生の地震に被害を受けた地域・人を対象に支援活動を行う日本在住の日系人及び日系人とともに活動する日本人に対し、ボランティア活動に必要な交通費、ガソリン代、車両借り上げ費、食費を除く宿泊費について実費を支援する。また、寄付金の拠出先に了解を得た支援物資についても援助を行う。

被災地支援グループを続けるブラジル人リーダーの一人は「これからは被災者の心のケアが中心になるだろう」と語っている。

## コラボラドーレス・シンポジウム開催

今回は、11月5、6日と2日間にわたり実施された『コラボラドーレス・シンポジウム』について報告します。

### コラボラドーレス・シンポジウムとは

サンパウロ州を中心にブラジル各地に点在する日系人が集住する各地域から日本へ就労に向かう人たちに対し、適正就労経路の確保、情報支援などの活動を行うデカセギ経験者達をCIATEでは、各地域の日系団体の推薦に基づきコラボラドール(協力者:コラボラドーレスは複数形)として登録しています。

登録されたコラボラドーレスの皆さんに、年に一度情報交換のためサンパウロに参集してもらいます。さらに、デカセギに関心のある日系人にも公開して、その年のテーマに沿った専門家をお招きして日本の就労状況や、関連する情報について講演してもらい、新たな情報発信に役立ててもらおうというのがコラボラドーレス・シンポジウムの開催の位置づけです。

本年度は「日本が直面する現状と訪日希望者の事前研修の重要性」をテーマに、日本語習得、計画性の追求、個々のスキルアップについて、以下の観点から講演を組み立てました。

- ①日本語習得:昨年度のテーマでも、その重要性について取り上げたが、継続的情報発信が必要。
- ②計画性の追求:1990年代初頭より始まった出稼ぎブームの中、就労者が安易に訪日を果たしていたことは否めず、CIATE中心に日系人社会に警鐘を発信してきた。結果を見るとデカセギ成功者の多くは、自身の人生設計を立てそれを着実に実行した者であった。
- ③個々のスキルアップ:従来から、生産現場での労働が主であった訪日就労者に対し、勤務先での資格取得、技術のレベルアップ、異業種への挑戦へ向け自ら求職活動ができる自立性を持つことが必要。

### 2日間にわたって開催

11月5日(土曜日)17時より文協ビル2階の貴賓室で、日伯両政府、日系諸団体、マスコミなど約90名をお迎えし開催しました。

大部一秋在サンパウロ総領事、山本麻里厚生労働省外国人雇用対策課長、白川光徳海外日系人協会専務理事より、シンポジウムの開催に当たり暖かい祝辞を頂きました。又ブラジル政府からは、アドリアナ・テレス・リベイラ外務省領事在外ブラジル人支援室担当副次官室長、エドワルド・バソン社会保障省国際室長、アチリオ・アシャート・ベベ労働雇用省サンパウロ州労働局次長による、デカセギ者に対する支援や現在の状況等が基調講演として行われました。

11月6日(日曜日)は以下の9名による報告・講演を実施しました。

**カルロス篠田:**在外ブラジル人代表評議会評議委員長

「在外ブラジル人の支援活動」

**尾崎正利:**青森中央学院大学教授

「日系ブラジル人の組織化の現状と課題」

**タチアナ高尾:**元名古屋外国人雇用センター相談員

「在日日系人の就労活動とその実際について」

**バルチーラ竹内:**CIATE日本語講座教師

「日本就労希望者の日本語取得の重要性」

**坂本久海子:**NPO法人愛伝舎理事長

「愛伝舎の活動と再就職支援での問題点」

**野村和久:**サンパウロ総領事館領事(査証班)

「サンパウロ総領事館管内、ブラジルの査証発給状況及び訪日希望者に対する注意点」

**山本麻里:**厚生労働省職業安定局有期派遣労働対策部外国人雇用対策課課長

「最近の雇用情勢と日本政府の取組」

**ミゲール伊藤:**ブラジルトヨタ社

「日本就労に際する、スキルアップの重要



初日に来賓祝辞を述べる厚生省山本課長

性と可能性」

**ロベルト・カサノバ:**2011年NHKのど自慢年間優勝者

「私のデカセギ経験と夢の実現」

尚、最後のプログラムとして、カサノバ氏には数曲自慢ののどを披露して頂きました。

厚生労働省山本麻里課長は、最近の雇用情勢と日系人の動向として日系人労働者の概況、近年の日本の雇用情勢、日系人求職者の状況について解説され、日系人雇用対策としてハローワークの体制整備、日系人求職準備研修の現況について説明され、日本での就労には日本語能力が必須であり、専門分野における技術、知識を習得することにより次のステップアップに繋げ、不安定な雇用から脱却し、安定雇用に繋げることができる、と話されました。

そして、日系人は外国労働者の中でも、大きなウエイトを占めており、その雇用の安定は重要な課題であり、引続き万全を期していきたいとの決意を持って締めくくられました。当日は、約120名の参加者にお集まりいただき、各講演後の質疑応答に関しても様々な方面より活発な発言が有りました。

講演者、参加者の皆さんのおかげをもちまして2日間とも無事プログラムを進め、成功裏に終了できました事をCIATE一同感謝申し上げる次第です。



## 生活にまつわる法律など

相談センター所長 西山 巖

(財)海外日系人協会 日系人相談センター

■相談受付 月曜日～金曜日(土・日曜、祝祭日を除く)

9:30～12:30 13:30～17:30

■対応言語 ポルトガル語、スペイン語、日本語

■電話番号 045-663-3258

2011年4月から2011年11月(8カ月間)における当相談センターが受け付けた相談件数等は次の通り。

相談者の人数は1,069人、相談件数では1,961件(前年度比56%減)であった。相談者の男女内訳は、男性475人、女性594人で国別相談者数は、ブラジル50.3%、ペルー24.3%、日本人21.1%、その他15カ国となっている。内容別にみると、生活相談が一番多く、保険・年金・税金、労働問題、研修・奨学金、通訳・翻訳と続いている。

**(相談事例) 子供の親権問題**

**相談** 自分は15年前出稼ぎ目的で訪日、約5年間滞在、その間日本人女性と結婚しました。10年前日本女性を同伴しアルゼンチンに帰ってきました。アルゼンチン生まれの5歳の子供がいます。

2年くらい前から妻との仲が悪くなり、いさかいが絶えなくなり、妻は子供を連れ自分とは別居生活をしていました。1ヵ月前、友人から、妻と子供は日本に帰国したとの知らせを受けました。大きなショックを受けました。その後妻より、離婚したい旨、更に子供は自分が育てることにしたいとの連絡を受けました。自分としては子供だけは自分が引き取りアルゼンチンで育てたいと切に希望しています。子供を取り戻す方法等はないものでしょうか。

**対応** 現在、国際結婚が破綻し、子供の無断国外連れ出しが増加しており、問題になっています。「国際結婚が破綻した際の子供の扱いを定めたハーグ条約」に日本は加盟しておりませんが、この問題が増加してきたことから、この条約に加盟する方針で準備を進めています。

今回の貴方のケースも奥さんが貴方に無断で子供を日本に連れ帰ったことが問題にあるわけです。アルゼンチンは既にこの条約に加盟しており、近い将来日本も加盟するものと思われる。現段階では、貴方の子供の返還要請の手続きはできませんが、前述のとおり、日本の本条約加盟が決まれば返還申請が可能となり、各種手続きが進行するでしょう。

それまで待つ方法もありますが、現在のところ離婚には至っていないこともあり、将来の子供のこと等も考え、家族3人一緒に住むことをもう一度検討されてはどうでしょうか。

**銀行口座の開設**

**相談** 学校その他の関係で必要なので、16歳の娘に銀行口座を設けるため住んでいる近くの銀行に手続きのため出向きました(その際18歳以下であるため、娘は同行しなかった)。ところが銀行側は娘がいないと開設が不可能であるので同行するよう求めてきました。通常18歳以下の場合、保護者の代理で手続きは可能であると聞いていたので、問題ないのではないかと言い返しました。しかし銀行員はあくまでも「銀行の規則」だの一点張り。頭にきたので「何処に書いてあるのか見せろ」と言い返し、口論になり、そのうち上司が出てきて、銀

行の外に追い出されてしまいました。この扱いは許せないと思います。銀行の扱いについて弁護士をたて訴えたいと思っていますがどう思いますか。適当な弁護士がいれば紹介していただきたい。

**対応** 未成年者の銀行口座開設の場合、銀行によって年齢制限等があります。開設の際の本人同行の有無ですが銀行の規則は貴方の質問とは逆の発想で何歳以上は親の承諾があれば開設可能、つまり、親の承諾書があれば(親の同行なしで)開設可能と謳っています。つまり口座名義人が中心になるわけです。

銀行により扱いが違いますが、通常15歳からが多いようで、16歳となれば当然本人が中心となりますから、本人による手続きが必要となります。あなたが出向いた銀行もおそらく15歳以上は本人による手続きが必要であり、銀行の規則として説明したものと思われます。

しかしこの年齢制限は前述のとおり、各銀行によって異なりますので注意が必要です。

**自転車乗車中の交通法等**

**相談** 先日の新聞に自転車に乗車し走行中の女子高校生が道路で警察に止められ、交通違反切符を交付されたとの記事を目にしました。理由は走行中に携帯電話を使用していたとのこと。自分も家族も自転車を大いに利用していますところ、この記事を見て心配になってきました。ついては、自転車使用に関する規則について教えていただけないでしょうか。

**対応** 貴方が住んでいる神奈川県における自転車使用に関する条例等は次のようなものがあります。

- ①「二輪又は三輪の自転車にあっては、運転者以外の者を乗車させてはいけない」。但し乗車装置を設け、6歳未満の者一人又は二人を乗車させ、16歳以上の者が運転する場合はこの限りではない。
- ②自転車乗車走行中の携帯電話の使用は禁止されており、違反した場合は5万円以下の罰金を課せられる。
- ③自転車乗車走行中にイヤホンを使用しての音楽等の聴取は禁止されており、違反した場合は5万円以下の罰金を課せられる。
- ④雨の日に傘を差しながら片手運転することも禁止されている。

上記①については以前より取り締まりを行っていたが②③及び④の規則は本年5月1日より実施されており、違反者の取り締まりが行われています。

又、最近自転車と歩行者の接触事故が増加しています。自転車も車両の仲間です。事故を起こした場合、被害者やその家族に対し「責任」を負わなければなりません。従って自転車に乗る時は自動車を運転する時と同じ覚悟で運転するよう心掛けてください。

**アマゾンで高拓生80周年  
生存者2名に名誉州民章**

1931年に第1回生が入植した日本高等拓殖学校によるアマゾン移住80周年を記念して、10月21日にパラ州ベレンで、23日にアマゾナス州パリンチンスで、25日に同州マナウスでそれぞれ記念式典が行われた。

アマゾナス州議会は、高拓生がもたらしたジュート栽培がアマゾン地域の産業経済に大きく貢献したことを認め、①高拓生の歴史や業績を同州の公立学校の教科書に掲載すること、②第2次世界大戦でブラジルが財産没収など高拓生を迫害したことに対する謝罪、③生存する高拓生3名のうち、マナウス市に在住する東海林善之進さん(97)千葉守さん(100)を同州の名誉州民とし、10月25日を日伯友好の『絆の日』と制定することの三つを議決し、マナウスで行われた式典で東海林さんらに名誉州民章を授与した。

**外国人集住都市会議いいだ2011**

11月8日、長野県飯田市で「外国人集住都市会議いいだ2011」が開催された。

牧野光朗飯田市長により発表された「いいだ2011メッセージ」は、同会議が、発足当初から国に要望し続けてきた外国人登録制度の見直しにより、7月から在留カードの導入等新たな制度が施行されることについて、基礎的行政サービスを提供する基盤となるものとして評価した。

会員28都市は、①静岡・群馬、②長野・岐阜・愛知、③三重・滋賀・岡山の3ブロックに分かれ、それぞれ「防災」「子供の教育」「地域コミュニティの構築」について引

**日系社会  
Topics**

引き続き研究を行い、「多文化共生社会」の実現を目指す。

**海外移住家族会  
関東・近畿ブロック会議開催**

海外移住家族会関東甲信越静岡ブロック会議が、去る11月1日に、社団法人日本海外移住家族会(1999年解散)初代事務局長の故藤川辰雄氏が海外移住先没者慰霊に建立した富士見観音のある伊豆大島で、近畿ブロック会議が12月8日、「海外移住と文化の交流センター」として2009年に生まれ変わった旧神戸移民センターと、それぞれ海外移住に縁の深い場所で行われた。両ブロック会議には当協会も参加した。



家族会ゆかりの伊豆大島富士見観音像前で

両ブロックとも会員の高齢化・減少と共通の問題を抱える中、現地県人会との関係維持や在日日系人支援を視野に入れた活動等について話し合われた。

近畿ブロックにはオブザーバーとして富山県家族会が初めて参加した。



神戸港メリケンパーク内にある  
ブラジル移民乗船記念碑前で

**〈賛助会員便り〉**

**奥井正光さん(大阪府海外移住家族会)**



3月11日、東日本大震災が起り、日本は未曾有の危機に遭遇した。海外の日系人は刻々と伝えられる報道に、日本の敗戦以来の国難と感じ、救わなければと立ち上がった。

10月、東京で開かれた海外日系人大会の折には、様々な国、都市から、市民を巻き込んでのイベントや募金活動等の詳細な報告があり、我々は感謝の念を抱いた。

これら膨大な支援が寄せられる背景には何があったのか。世界各国に報道された映像の中の日本人被災者の整然とした行動、辛抱強さに、世界の人々は、驚嘆と畏敬の念を抱いたのだ。そして世界に例を見ない「日本人らしさ」が皆の共感を呼び、未だ募金は続けられているという。

やっぱり「ジャポネース・ガランチード(日本人は信用できる)」は生きている! その昔、海を渡り移住した先の国々で、この言葉をもって賞賛された人々のことを決して忘れてはならない。海外の人々の日本人観の原点はそこにある。彼の地で脈々と受け継がれた魂が、強い「絆」を呼び寄せたのではなかろうか。

**NIKKEI** NO.11  
Network  
2012 JAN.

発行/(財)海外日系人協会 〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1 赤レンガ国際館2F  
TEL:045-211-1780 FAX:045-211-1781  
E-mail:info@jadesas.or.jp URL:www.jadesas.or.jp 編集発行人/白川 光徳

**Health and Life Insurance for foreigners living in Japan**

**外国人のための医療・生命保険**

✿ VIVA MED-S (Life and Health coverage)  
医療保険(100%保障)+生命保険

✿ 外国人留学生向け保険

✿ 外国人技能実習生向け保険

✿ VIVA LIFE-S (Life coverage)  
外国人向け生命保険

For more information, call:

TOLL FREE: **0120-656-684**

TEL: **046-265-6685**

Visit **www.vivavida.net**



少額短期保険会社  
(株)ビバビダメディカルライフ  
VIVAVIDA MEDICAL LIFE CO., LTD  
関東財務局長(少額短期保険)第51号

